石橋議員（自民議連）

平成 28 年２月 25 日
教 育 長 答 弁 実 録
（ 教 育 委 員 会 ）

（問）建国の歴史を教えることについて

我が国は，神武天皇による建国以来，第１２５代，今上陛下の御代である今日まで，２，６７６年もの長きにわたる世界最古の国家である。

現行の学習指導要領では，必ずしも建国の歴史を取り扱うこととはされていないが，国際的に活躍する人材を育てるためにも，また，誇りを持ち胸を張って日本を語ることのできる人材を育てるためにも，自国史において最も重要な出来事の一つである建国について教えないことは到底考えられない。

そこで，子供達が我が国の成り立ちを理解するため，学校で建国の歴史を教えることについて，どのようにあるべきと考えるか，教育長の所見を伺う。

（答）

グローバル化が進展する中で，我が国の将来を担う児童生徒が日本の歴史について理解を深めることは，国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚や資質を育てる上で，重要なことであると考えております。

学校では，授業におきまして，古事記や日本書紀などに書かれている建国の歴史などの記述を通して，古代の人々のものの考え方や生活を捉えさせるなど，古代国家の形成と展開，文化の特色とその成立の背景について学習しているところでございます。

教育委員会といたしましては，こうした学習を通して，日本人としてのアイデンティティーと誇りを持ち，胸を張って日本を語ることのできる人材の育成に努めてまいります。